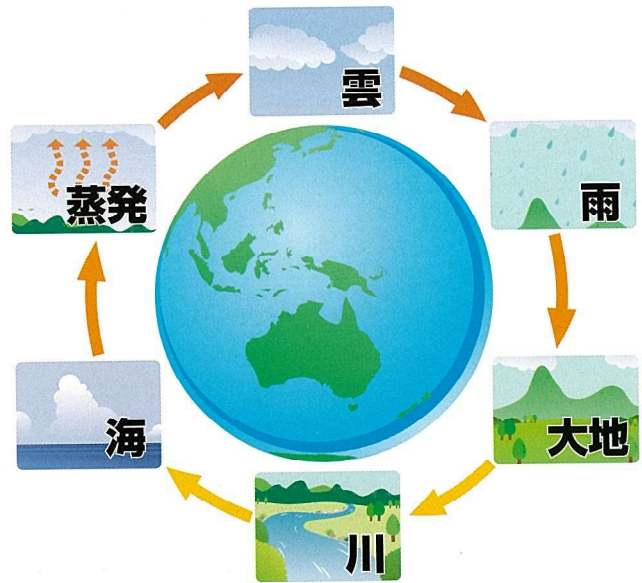


1 循環する水と浄化槽

地球上の水は蒸発し雲となり、雨となって地上に降りそそぎます。降った雨水はやがて川となって海へ流れ、再び蒸発して雲になります。また、地上に降りそそいだ水の一部は地下に浸透し、大切な植物を育てています。数十億年前から、この循環を繰り返してきました。私たちが毎日使っている水も、このサイクルのなかにあり、水は、地球上の生命にとってなくてはならない大切なものです。

ところが近年、川や海の水は人口の増加や産業の発達により汚染され自然の浄化作用ではなかなか回復できなくなりました。私たちは使って汚した水をきれいにしてから川や海へ戻さなければなりません。こうした中で活躍するのが「合併処理浄化槽」なのです。



◆生活から出る排水の汚れ (BOD) について

生活雑排水とトイレの汚水(1人一日当たりのBOD)の比較

1人1日当り
40g

「BOD」とは

水中の有機物を微生物が分解するときに消費する酸素の量のことで、この数字が大きいほど水が汚れていることになります。一般家庭の生活で1人が一日に排出する汚水には約40gも「BOD」が含まれています。川や海に流れ出る汚れの量を減らすために、合併処理浄化槽で処理する必要があります。

生活雑排水=27g
(台所、風呂、洗面、洗濯、掃除)

水洗便所
汚水=13g



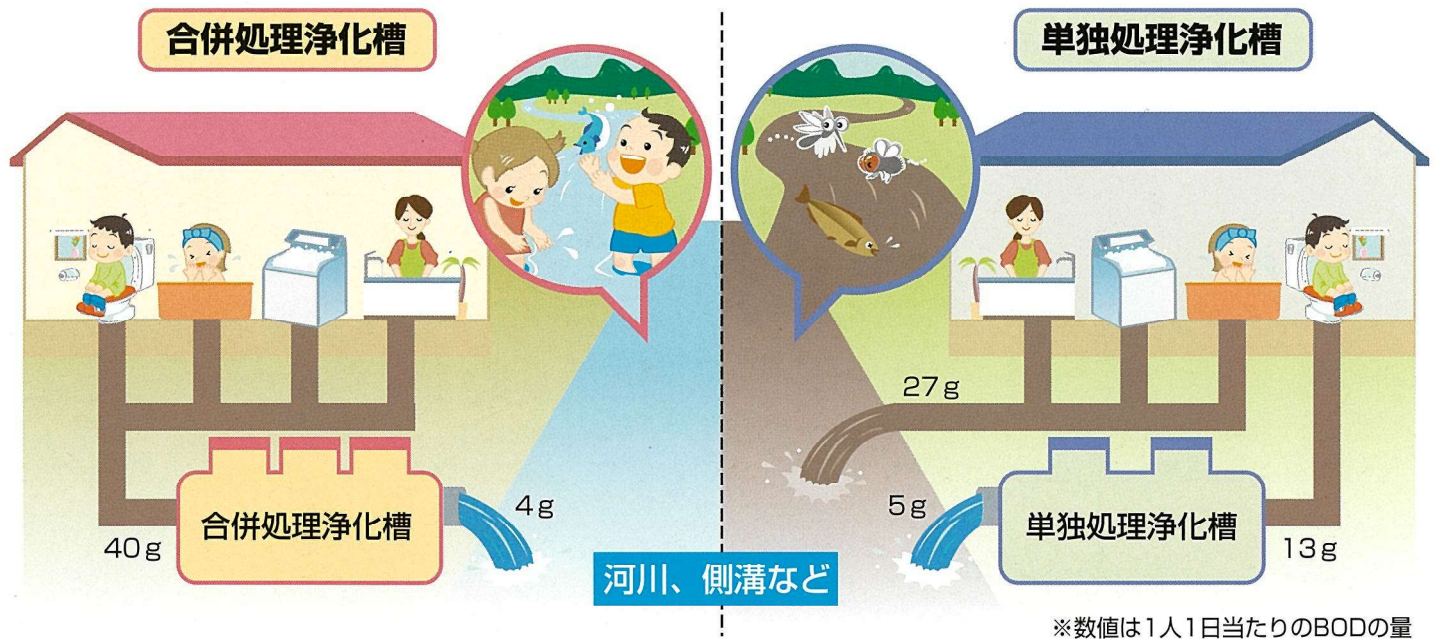
出典：環境省「浄化槽による地域の水環境改善の取組み」

3 合併処理浄化槽のしくみと役割

合併処理浄化槽は各家庭から出される汚れた水を、きれいにしてから側溝や川へ戻します。



2 合併処理浄化槽と単独処理浄化槽



浄化槽にはトイレの汚水だけを処理する単独処理浄化槽と、お風呂や台所などからの汚水（生活雑排水）もまとめて処理することができる合併処理浄化槽があります。家庭から出される生活排水の中でも、もっとも汚れがひどいのは実は台所からの汚水なのですが、単独処理浄化槽では生活雑排水を処理することができません。

生活排水処理を進め、きれいな川や海を守るためには、合併処理浄化槽の整備が必要なのです。

※現在は単独処理浄化槽を新たに設置することはできません。

